



増間・御神的神事

3月1日(月)増間の日枝神社で、稲作の豊作を占う御神的(おまと)が4年ぶりに行われました。

早生(わせ)、中生(なかくて)、晩生(おくて)で12本ずつ、36本の矢が放たれた結果、早生2本、中生0本、晩生9本が的中し、今年は晩生が豊作との託宣がありました。

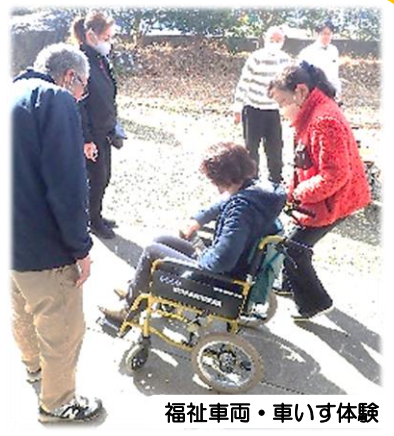
1300年余り続くこの神事、次世代に継承していきたいが、担い手不足や道具の修理、材料確保が困難になり、来年以降はいったん休止することが決まっています。



南房総市ボランティア連絡協議会 ボランティアまつりを開催しました



おたがい茶間カフェ・おかげ茶間サロン



福祉車両・車いす体験



折り紙作品づくり(びわダイニング)



非常食の配布(南房総市赤十字奉仕団)

2月10日(土)南房総市ボランティア連絡協議会主催・ボランティアまつりが、みよし交流館を会場に開催されました。

会場には、市内サロンの活動紹介と作品展示、体験コーナーでは折り紙3枚でつくるコマや、どんぐりアートなど体験できました。和室では、「南房総落語愛好会」の落語、「あひるの会」の読み聞かせがあり、時間になるとたくさんのお客さんでどちらも満席でした。

屋外では、南房総市赤十字奉仕団の方が災害用移動炊飯器(釜)で、ハイゼックス炊飯袋を使ってごはんを炊き無料配布。福祉車両と車いす体験もあり、車両の操作と実際に車椅子での乗り降りも体験できました。

気軽に集える仲間・健康づくりの場として、地域のボランティアが主体となりサロン活動をしています。三芳地区は第4月曜日10時から12時まで、農村環境改善センターで開催しています。

お問い合わせ：南房総市社会福祉協議会 ☎36-2276



千葉県東方沖の地震活動にご注意ください！

能登半島地震から2か月余りが経ちました。石川県内の断水戸数は2月末現在で約20,000戸（最大約110,000戸、全域の復旧見込みは3月中）と、まだまだ、不便な生活を送る方が多い状況です。仮設住宅の建設も進んでおり、関係者の懸命な復旧作業等が続いています。

今後数か月は震度5弱程度の地震発生に注意が必要です。

2月26日から、千葉県(房総半島)東方沖で震度1以上を観測する地震活動が活発化しています。1日に数回訪れる地震に対し不安や恐怖を覚える方も多いと思います。

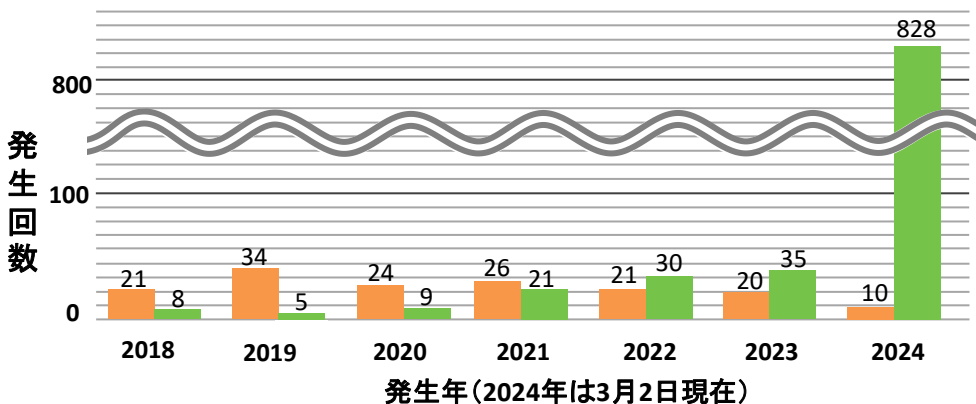
気象庁地震調査委員会は、「今回の地震活動では、房総半島沖のフィリピン海プレートと陸側のプレートの境界面で発生している、ゆっくりすべり（スロースリップ）現象という地殻変動が観測された。過去にも数年に一度程度の頻度（1996年、2002年、2007年、2011年、2014年、2018年）で同様の地震活動が観測されており、2007年には最大震度5弱の地震が発生した。これらを踏まえると、今後も引き続き地震が発生し、震度5弱程度の強い揺れが起こる恐れがある。1週間から数か月続く可能性があり、十分に注意が必要である。」と発表しました。みなさんの「備え」は十分でしょうか？

南房総市で発生した地震を数えてみました！

気象庁ホームページにある、「震度データベース検索」では、いつ・どこで等の条件を入力することで、過去に観測したすべての地震から抽出することができます。今回は、2018年以降、南房総市で観測された、震度1以上の地震を検索し1年ごとにグラフにしました。参考として、石川県輪島市も同じ条件で検索し比べてみました。

南房総市の2024年は、10回となっておりますが、千葉県東方沖の地震活動が活発になった、2月26日以降だけで6回発生しています。輪島市の2024年は828回ですが、1月だけで753回観測されています。今回は、南房総市全域で検索しましたが、もっと細かい情報として観測点ごとに検索が可能です。三芳地区には、三芳分庁舎（谷向・千葉県設置）と上堀農村公園（上堀・気象庁設置）の2か所に設置されています。

年間地震発生回数(震度1以上) ■ 南房総市 ■ 輪島市



気象庁
震度データベース検索



<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

「防災」「減災」をテーマに、自宅での日頃の備え、災害発生時の対応（避難や情報収集）などについて、出来るだけ身近で具体的な内容を紹介していきます。日常のちょっとした疑問、心配なこと、ご意見などお寄せください。みんなで災害に備えましょう。

